

12/17

訂正

STAGE 3 文学的文章Ⅱ

①	(ア)	3	(イ)	4	(ウ)	1	(エ)	3	解答(P 14～21)
---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-------------

解説

① (ア) 傍線部1の後の「おい、恵……俳句甲子園に行くぞ」というセリフと「今なら……ずうずうしい」というセリフに着目する。

ここからは、友人の「恵一」がもつ才能をそのままにしておくにはもったいないため、その才能を俳句甲子園で発揮してほしいと、自分たちの仲間に引き入れたいとする「航太」の姿が読み取れる。

(イ) 傍線部2の前後を確認する。「恵一」は「航太」が本気で自分を仲間に誘っていることに気づいてはいるものの、俳句甲子園の審査の仕組みに不満があり、自分の俳句を他人に解釈されたくない思いをもっているために、誘いを拒否しようとしている。指を突きつけているのは、その不満や思いを説明する直前であるから、それらをこれから説明しようとするところだと考えることができる。

(ウ) 傍線部3の後を確認する。「航太」は仲間に、作った本人ではわからなかった自身の俳句の良さや解釈を見つけてもらう体験をして、良い感情を抱いていることが読み取れる。その体験を、「恵一」にもして欲しいと考え、引き下がないことにしていることが読み取れる。

(エ) 「航太」が「恵一」の俳句の才能に嫉妬しつつも、その才能を「航太」や仲間たちと発揮してほしいと仲間に勧誘するものの、拒否される。そこで引き下がらずに賭けをしてでも、「恵一」を自分たちの仲間に引き入れたいとする「航太」の姿を描いている一幕である。「恵一」には……航太が気づかせてやれることだってあるはずだ。」などの記述に見られるように、地の文には「航太」の心情がそのまま描かれている箇所があることに注意する。